

## 6/25 田植え体験で水を学びに 白川中流域田んぼハイスクール

「白川中流域田んぼハイスクール」が町内の富永連さん(下津久礼)の水田で行われました。熊本北高校、尚綱高校、熊本商業高校、第一学院高校、大津高校の生徒計34人が参加し、地元農家に田植えを教わりました。田植え後は、東海大学の市川勉教授の講演を聞き、熊本の地下水と白川の関係を学びました。参加者は、「この貴重な体験を通して、米づくりを学びながら楽しんでいきたい」と笑顔を見せました。



田んぼハイスクールの参加者(高校生の皆さん)

## みんなの広場



投稿  
募集中

皆さんが町民の皆さんに伝えたい情報や、活躍を掲載します。掲載月の2カ月前の月の15日までにご連絡ください。

☎ 総合政策課 企画政策係  
☎ (232) 2112  
✉ kouhou@town.kikuyo.lg.jp

## 6/21 くまモンが取材に来ました！ 白鈴こども園で親の学び講座を実施

白鈴こども園で「くまもと親の学びプログラム講座」を開催。参加者は4歳児クラスの保護者計22人。

今回は「上手なほめ方・しかり方」をテーマに、参加者が子育ての楽しさや悩みなどを語りました。「くまもと親の学びプログラム」普及のため、くまモンが取材に駆け付け「R K Kくまモンマイルジャンプ」で講座の様子が放送されました。

トレーナーで町社会教育指導員の内田早苗さんは「今後も講座をきっかけに、子育てに一人で悩まず相談し合い、子どもたちの健やかな成長に繋がって欲しい」と話しました。



トレーナーの1人が子育ての悩みの発表を参加者に促す

## 大陽クラブ準V 九州大会出場権獲得 第16回九州還暦軟式野球熊本県大会

- 第16回九州還暦軟式野球熊本県大会が7月2日、3日に大津町で開催され、11チームがトーナメントで対戦。地元の大陽クラブは2回戦で県庁名球会を9対0、準決勝で球磨川球友を6対4で退け、決勝戦まで進出。決勝戦では天草本渡SCに惜しくも2対6で敗れたものの、九州大会への出場権を獲得しました。優勝、準優勝の2チームは、11月19日、20日、沖縄県で開催される九州大会に出場します。大陽クラブでは、一緒に野球を楽しむ59歳以上の野球愛好家を随時募集しています。
- ☎ 大陽クラブ 服部 ☎ 090 (8836) 0248



準優勝した大陽クラブ60のメンバー

まるめ しゅうや  
**丸目 修也さん**  
平成28年8月10日生まれ(沖野)  
オセロやパズルに挑戦すると、集中力ばつぐんの修也さん。パズルのピースが多いものにも挑戦しています。

Happy Birthday

ぼくのわたしの  
**誕生日**

こうのとりの保育園

すぎもと ゆうき  
**杉本 優貴さん**  
平成28年8月20日生まれ(光7町内)  
泳ぐことに興味津々の優貴さん。プール遊びでは顔をつけて、バタ足ですいすい泳げるようになりました。

## 6/8~9 今回で3回目 菊陽町農産物物産展

大阪市梅田で3回目の菊陽町農産物物産展を開催。これは町産農産物の知名度向上やブランド力向上のため町とJA菊池が行っているものです。今回もスイートコーンとにんじんが人気でした。(有)さんふれあで販売中の「ゴロっと！にんじんとチキンのカレー」は、2日とも購入した人も。町産農産物は大阪でも大人気でした。



菊陽産の野菜をアピールするJA菊池と町職員

## 6/16 大事な人の健康を祈って 父の日に牛乳を贈ろう

火の国酪農業協同組合婦人部の寺本あけ美部長と生山優子さん(鉄砲小路)、南康代さん(川久保)が、牛乳の消費拡大キャンペーンの一環として、後藤町長、上川教育長に牛乳を贈呈。南さんは、「牛乳を飲んで、健康を維持して仕事を頑張ってください」と笑顔で渡しました。来年の父の日には、牛乳を大事な人に贈りませんか。



贈呈された牛乳は瓶入りの900ミリリットル

## 6/20 事故のないまちづくりを 交通事故防止啓発のぼり旗の寄贈

大津地区安全運転管理者協議会菊陽支部(舟津生二会長)が、交通事故防止啓発用のぼり旗を町へ寄贈。

寄贈されたのぼり旗の数は128本で、今後町から各地区に配布し、交通事故防止のために活用されます。

舟津会長は「町は大型の施設や企業が増え、今後も交通量の増加が予想される。より交通安全啓発に取り組んでほしい」と話しました。



のぼり旗を寄贈した舟津会長(左)

## 6/17 3年ぶりに開催 菊陽町PTA連絡協議会教育懇談会

町PTA連絡協議会主催の教育懇談会が、光の森町民センターで開催されました。協議会役員、前役員、学校長、教育委員会職員など36人が参加し、親睦を深めました。また、上川教育長から前役員に感謝状を贈呈。感謝状を受け取った前会長の堤建太さん(上津久礼)は「これからも子どもたちのために自分ができることを協力していきたい」と話しました。



左から感謝状を代表して受け取った吉元梢さん(光団地)、堤さん、鍋島千祐さん(井口)